

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		19,913	t-CO ₂
① （温 室 除 く 酸 効 果 ガ ス 換 算 ） 二 室 除 く 化 果 炭 ガ ス 排 出 量	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑧合計）		19,913

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度 令和 6 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 9 年度 目標削減率	
		t-CO ₂		t-CO ₂		%
温室効果ガス 総 排 出 量		t-CO ₂		t-CO ₂		%

項 目	基準年度 令和 6 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 9 年度 目標削減率	
		t-CO ₂ / 台		t-CO ₂ / 台		%
原単位当たりの 排 出 量	0.01757	t-CO ₂ / 台	0.01704	t-CO ₂ / 台	3.0	%

(2) 目標設定の考え方

温室効果ガスの原単位当りの排出量を 1 年間に 1 % ずつ、3 年間で 3 % 削減する。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考 3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー・省資源の推進	生産ラインの出来高を上げることにより設備の待機時間を削減し電力量を削減する。	生産ラインごとによる (3~5%UP)
省エネルギー・省資源の推進	生産終了後、各設備の電源を切り、待機電力を削減する（一部電源切れない設備あり）	一部の設備を除き生産終了後、設備の電源を切る。
省エネルギー・省資源の推進	・事務のPC、照明の不必要時は、こまめに電源の入切りをする。	計画的に実施する。
省エネルギー・省資源の推進	・作業能率に良好な影響をおよぼす温度を徹底する。 ・各職場ごとに責任者を決め、適温の維持を徹底する。	・冷房 室温28℃で空調設備を停止する。 ・暖房 室温20℃で空調設備を停止する。
省エネルギー・省資源の推進	工場エア-漏れの対策	超音波カメラでエア-漏れを早期発見し対策する。

指針第1号様式

(2) 非化石エネルギーへの転換に関する措置

ア 非化石電気に関する目標

指標	目標 (2030年度)
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	%

イ 計画期間における非化石エネルギーの利用

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

・環境マネジメントシステムを通じて、継続的に改善を図る。
①法令等の順守と自主的改善目標に全員で取り組み、環境問題の未然防止と環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。②省エネルギー・省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進を図り、地球環境の保護及び汚染の予防に努めます。③社会とのコミュニケーションを推進しながら、地域に調和したより良い環境の実現に努めます。

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

①省エネルギー・省資源の行動実践…非稼働時間帯の設備停止、照明の消灯 (動力保安員が巡視しチェックする。後日結果を各部署へ報告し対策を実施する。) ②廃棄物の排出抑制…会議でマルチプロジェクターを活用しペーパーレス化の推進。